

### 地域密着型サービスの自己評価票

| 項目                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいきたい項目)  | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|---|---|---------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |   |   |                                 |
| <b>1. 理念の共有</b>    |   |   |                                 |
| 1                  | ○地域密着型サービスとしての理念<br><br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている      | 御利用者が自らの願いを実現し、地域の中で生き生きと生活できるようスタッフの御利用者とのかわりについても理念に定めている。            |                                 |
| 2                  | ○理念の共有と日々の取り組み<br><br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                         | 法人の基本理念を職員会議や綱領唱和等で管理者と職員は共通理解し、御利用者が安心してその人らしい生活が出来るホーム作りを話し合い取り組んでいる。 |                                 |
| 3                  | ○家族や地域への理念の浸透<br><br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | 家族にはプラン確認時の説明他、面会時や毎月のお便りなどで伝えると共に、地域の方々には運営推進会議、地区行事への参加を通して理解を促進している。 |                                 |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |   |   |                                 |
| 4                  | ○隣近所とのつきあい<br><br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 日々の散歩活動を通じ近所の方々との挨拶や会話を通じて交流を深めている。季節の野菜や花などを持ってきていただくこともある。            |                                 |
| 5                  | ○地域とのつきあい<br><br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている   | 地区行事への御利用者参加、ボランティアの方や民生員の事業所訪問も行っている。                                  |                                 |

| 項 目                          | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                           |
|------------------------------|--|------------------------|---|
| 6                            | <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>                  | ○                      | <p>運営推進会議出席者だけではなく三股地区住民へ広く事業所活動をPRし認知症高齢者に対する理解を深める。</p> |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |  |                        |   |
| 7                            | <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>                           |                        |   |
| 8                            | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている</p>            |                        |   |
| 9                            | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>                            |                        |   |
| 10                           | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> |                        |   |
| 11                           | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>            |                        |   |

| 項 目                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|--|------------------------|---------------------------------|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |  |                        |                                 |
| 12                     | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>            |                        |                                 |
| 13                     | <p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>           |                        |                                 |
| 14                     | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>         |                        |                                 |
| 15                     | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>           |                        |                                 |
| 16                     | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>                       |                        |                                 |
| 17                     | <p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> |                        |                                 |

| 項 目                | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|---|------------------------|---------------------------------|
| 18                 | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> |                        |                                 |
| <b>5. 人材の育成と支援</b> |   |                        |                                 |
| 19                 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>              |                        |                                 |
| 20                 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>    |                        |                                 |
| 21                 | <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>                                       |                        |                                 |
| 22                 | <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>                           |                        |                                 |

| 項 目                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)   | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|--|---------------------------------|
| <b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>      |  |  |                                 |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |  |  |                                 |
| 23                               | ○初期に築く本人との信頼関係<br><br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                  | 入所前より、家族や本人より情報収集行い、センター方式を活用し、早期定着を図るよう努めている。   |                                 |
| 24                               | ○初期に築く家族との信頼関係<br><br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                       | 電話相談等があった場合は無理強いすることなくグループホームへの訪問見学をお勧めし、来られたら相談内容について詳しくお聞きしアドバイス、専門機関の紹介など行いながら徐々に行っている。 |                                 |
| 25                               | ○初期対応の見極めと支援<br><br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                               | 行き詰まった状況での相談については、状況をお聞きしながら今の現状をどう解決するかについて、例えばショーステイ、或いはデイサービスの利用とか具体的な情報をお伝えしている。       |                                 |
| 26                               | ○馴染みながらのサービス利用<br><br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居利用前の相談や、諸手続き等には家族の方々と一緒に来ていただきながら、グループホームの雰囲気や利用者の方々と顔馴染みとなるよう状況を家族と相談しながら進めている。         |                                 |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |  |  |                                 |
| 27                               | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | 料理レク、農作業、日常会話の中で人生の先輩として逆に指導をしてもらっている。また、活動や食事等は利用者と共に行っている。                               |                                 |

宮崎県三股町 グループホーム2ユニットさつき（つづじ）

| 項 目 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|--|--|------------------------|---------------------------------|
| 28  | ○本人を共に支えあう家族との関係<br><br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている         | 面会や手紙での近況報告、家族との話の中で利用者支援について話しあい、家族の思いも深身になってうけとめるよう努めている。利用者がスタッフを家族と思い込んでいる時は、そのつもりになって対応している。        |                        |                                 |
| 29  | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br><br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             | 家族とのコミュニケーションにて親戚間等にてトラブルのないよう連絡・報告には配慮している。過去に全く疎遠であった家族が面会にみえるようになった例あり。                               |                        |                                 |
| 30  | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br><br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている               | キーパーソン以外の面会（友人・親戚等）も多く、その際には近況を報告する等、気軽に立ち寄ってもらえるようなふんいき作りと共に、面会推進働きかけている。又、自宅帰省や外出・美容院等入所前の関係継続を支援している。 |                        |                                 |
| 31  | ○利用者同士の関係の支援<br><br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | 利用者同士の関係を把握し、トラブルの多い利用者同士の接触は控え、気の合う利用者同士での対話や活動の場を提供し、できるだけ孤立しないよう配慮している。                               |                        |                                 |
| 32  | ○関係を断ち切らない取り組み<br><br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 入院された場合、お見舞いに行っている。又、退所後も他機関サービスについて相談あった場合等のサポートを行っている。行事や講演会等の呼びかけは実施できなかった。                           |                        |                                 |

| 項目                                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組んでいき<br>たい項目)   | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|---|---|----------------------------------|
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>    |   |   |                                  |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                    |   |   |                                  |
| 33                                    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 3ヶ月に1回のアセスメントでの聞きとり、日常の会話、利用者同士での会話、行動、表情等に気配りし、「本人はどうしたいのか」という視点を持ち、把握につとめている。 |                                  |
| 34                                    | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | 入所前の事前調査、センター方式アセスメントにて情報収集している。  |                                  |
| 35                                    | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | 24Hを通した様式を使用し、記録においては特記となりえることがらは、赤文字で記録し、把握しやすいよう配慮している。                       |                                  |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |   |   |                                  |
| 36                                    | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 担当スタッフによる本人へのアセスメントや家族への聞き取り、必要であればリハビリスタッフ等の関係者から情報収集し、介護計画を作成している。            |                                  |
| 37                                    | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 3ヶ月の見直しを行い、状態の変化が生じた場合は新たな計画を作成している。  |                                  |

| 項 目                                |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|---|---|------------------------|---------------------------------|
| 38                                 | ○個別の記録と実践への反映<br><br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている     | 24時間対応の記録形式にて、様子や気づき等を記入している。申し送り帳や会議にて情報共有している。                                  |                        |                                 |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |   |   |                        |                                 |
| 39                                 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br><br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、馴染みの関係を大切にしながら事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 家族との外出や、リハビリ、眼科等の他科受診、美容室等、本人・家族の要望に応じた支援を行っている。                                  |                        |                                 |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |   |   |                        |                                 |
| 40                                 | ○地域資源との協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している              | 利用者も地域住民の一人として生活できるよう地区の役員、民生委員等の支援を仰いでいる。また、安全な生活の為に消防署、警察署の方に来ていただきアドバイスをうけている。 |                        |                                 |
| 41                                 | ○他のサービスの活用支援<br><br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている   | 他のケアマネジャーやサービス事業者、また他のサービス利用実績はない。  |                        |                                 |
| 42                                 | ○地域包括支援センターとの協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している  | 現在のところ、地域包括支援センターとの協働は行っていない。   |                        |                                 |



| 項 目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|---|------------------------|---------------------------------|
| 43  | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>  |                        |                                 |
| 44  | <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>   |                        |                                 |
| 45  | <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>  |                        |                                 |
| 46  | <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>                       |                        |                                 |
| 47  | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>                                    |                        |                                 |
| 48  | <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> |                        |                                 |

| 項 目                                 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|--|---|------------------------|---------------------------------|
| 49                                  | ○住み替え時の協働によるダメージの防止<br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | GH退所後は自宅や他のG. H. 等に住み替えた方はいない。  |                        |                                 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>    |  |   |                        |                                 |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>              |  |   |                        |                                 |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>                  |  |   |                        |                                 |
| 50                                  | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                                       | 居室へ入る際は、本人へ声かけを行うよう心がけている。入浴もできるだけ一人ひとり入浴する。排泄等のプライバシーなど配慮している。周囲環境にも留意し、女性利用者であれば男性スタッフのケアにも配慮している。個人の情報を誰でも見れる場所におかず、スタッフへも個人情報の理解を図っている。 |                        |                                 |
| 51                                  | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている                   | 本人が「これがしたい」と希望を表わせるよう、選択性にして尋ねる時、理解度に応じて説明を行いながら活動等を本人に決めてもらうよう努めている。   |                        |                                 |
| 52                                  | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している                        | スケジュールについて拒否があった場合は無理強いする事無く、暫く時間を置いて働きかける、或いは本人が希望した時間や内容に応じて支援するよう努めている。  |                        |                                 |
| <b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |  |   |                        |                                 |
| 53                                  | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている                                    | 本人の望む馴染みの美容室へ行っている。個人で眉描き、化粧水などそれぞれのお洒落を支援している。行事の際も本人の要望があれば口紅等の化粧品も支援している。  |                        |                                 |

| 項目                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|--|------------------------|---------------------------------|
| 54                                  | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>    |                        |                                 |
| 55                                  | <p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>           |                        |                                 |
| 56                                  | <p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>       |                        |                                 |
| 57                                  | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>   |                        |                                 |
| 58                                  | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>                    |                        |                                 |
| <b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |  |                        |                                 |
| 59                                  | <p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> |                        |                                 |

| 項 目                   |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|--|---|------------------------|---------------------------------|
| 60                    | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>         | <p>3名の利用者が自己管理の財布を持っており、家族へ中身確認してもらっている。買い物時は自己管理の財布より支払いしてもらう事もあり。</p> |                        |                                 |
| 61                    | <p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>                           | <p>毎日の散歩、買い物、お花見など戸外へ出かける機会は多い。</p>                                     |                        |                                 |
| 62                    | <p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>        | <p>家族の協力をもらいながら墓参りや田んぼ等、外出の機会をつくっている。外食に出かける等も支援している。</p>               |                        |                                 |
| 63                    | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>                                  | <p>遠方の家族への手紙書きについて支援。また、電話についても家族が傍について掛けたり、或いは職員支援の下に行っている。</p>        |                        |                                 |
| 64                    | <p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>                   | <p>面会日や時間制限をすることなく、いつでも自由に面会していただくよう家族他に説明している。</p>                     |                        |                                 |
| <b>(4)安心と安全を支える支援</b> |  |   |                        |                                 |
| 65                    | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>スタッフ全員が拘束しないケアについての理念を理解しており、見守りの強化や利用者の状態の安定に配慮しケアに取り組んでいる。</p>     |                        |                                 |

| 項 目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組んでいき<br>たい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|---|-------------------------|----------------------------------|
| 66  | <p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>     |                         |                                  |
| 67  | <p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>              |                         |                                  |
| 68  | <p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>        |                         |                                  |
| 69  | <p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>     |                         |                                  |
| 70  | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>               |                         |                                  |
| 71  | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> |                         |                                  |

| 項 目                              |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|--|------------------------|---------------------------------|
| 72                               | ○リスク対応に関する家族等との話し合い<br><br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている | 面会時や電話連絡、お便りを通じて利用者についての状況を細かく伝えている。また、起こり得るリスクについて話し合い、最善策を共に協議しながら進めている。 |                        |                                 |
| <b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b> |   |  |                        |                                 |
| 73                               | ○体調変化の早期発見と対応<br><br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている          | 定期的（毎日）バイタルチェックを行い、表情や行動等の小さな変化を見逃さないよう努め、スタッフ間でも情報を共有し対応している。             |                        |                                 |
| 74                               | ○服薬支援<br><br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている      | 薬剤情報管理ノート、服薬ボード、申し送り帳を通じてスタッフへの周知を図っている。全員が理解し、処方変更後は観察を更に強化するよう徹底している。    |                        |                                 |
| 75                               | ○便秘の予防と対応<br><br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる        | 毎日の散歩、ストレッチ運動、牛乳や水分を多く摂取してもらう等の工夫を行い予防に努めている。日々排便チェック表にて対応している。            |                        |                                 |
| 76                               | ○口腔内の清潔保持<br><br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている                  | 毎食後口腔ケアを実施している。必要に応じて歯科受診も行っている。また、毎週定期的な消毒を実施している。                        |                        |                                 |
| 77                               | ○栄養摂取や水分確保の支援<br><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている     | 1日の食事、水分量のチェックをこまめに行い表に記入し把握している。不足している場合は本人の嗜好に応じた代替食品、飲料にて補っている。         |                        |                                 |

| 項 目                            |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|--|------------------------|---------------------------------|
| 78                             | ○感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）   | 感染予防マニュアル、保健所からの情報の回覧を行い手洗い、うがい、定期的な手すり等の消毒を励行している。              |                        |                                 |
| 79                             | ○食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている  | 定期的な食器の消毒、冷蔵庫の整理を行っている。  |                        |                                 |
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |   |  |                        |                                 |
| <b>(1)居心地のよい環境づくり</b>          |   |  |                        |                                 |
| 80                             | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | 玄関を開放し自由に入出入りできるよう配慮している。ホーム表玄関には看板を設置。                          |                        |                                 |
| 81                             | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節感を取り入れた掲示物、花瓶には花を生ける、またテーブルクロスにも工夫している。光や音についても利用者に合わせて調節している。 |                        |                                 |
| 82                             | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | 談話室には個別、或いは数人で座れるソファが準備しており、自由にテレビ鑑賞や利用者同士の会話ができるようになっている。       |                        |                                 |

| 項 目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---|--|------------------------|---------------------------------|
| <p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>入所前に家族、本人へ馴染みの物や思い出の品を持ってきていただくよう説明。写真や思い出の品を居室に飾っている。</p>                          |                        |                                 |
| <p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>       | <p>1日のうちに定期的な換気を行い、室温計を確認しチェック表に記入している。</p>  |                        |                                 |
| <p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>   |  |                        |                                 |
| <p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>                | <p>利用者のADLに合わせベッドや布団を敷くなどの方策を吟味しながら、利用者にとって動きやすい環境づくりに努めている。</p>                       |                        |                                 |
| <p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>                          | <p>居室には本人の作成の掲示物、浴室やトイレには場所が分かるような掲示物を掲示している。又、夜間は、トイレの明かりを点灯して利用者の分かりやすいよう工夫している。</p> |                        |                                 |
| <p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>                                  | <p>畑、プランター、外のベンチテーブル等を活用し、野菜の植え付けや収穫、花の水遣りなどで外気に触れ四季を楽しんでもらっている。</p>                   |                        |                                 |

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



| V. サービスの成果に関する項目 |  | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |              |
|------------------|--|-----------------------|--------------|
| 項 目              |  |                       |              |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ○                     | ①ほぼ全ての利用者の   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいの |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいの |
|                  |  |                       | ④ほとんど掴んでいない  |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | ○                     | ①毎日ある        |
|                  |  |                       | ②数日に1回程度ある   |
|                  |  |                       | ③たまにある       |
|                  |  |                       | ④ほとんどない      |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 92               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 94               | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている          | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○                     | ①ほぼ全ての家族と    |
|                  |  |                       | ②家族の2/3くらいと  |
|                  |  |                       | ③家族の1/3くらいと  |
|                  |  |                       | ④ほとんどできていない  |

| 項 目 |   | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |              |
|-----|---|-----------------------|--------------|
| 96  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                        |                       | ①ほぼ毎日のように    |
|     |   |                       | ②数日に1回程度     |
|     |   | ○                     | ③たまに         |
|     |   |                       | ④ほとんどない      |
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○                     | ①大いに増えている    |
|     |   |                       | ②少しずつ増えている   |
|     |   |                       | ③あまり増えていない   |
|     |   |                       | ④全くいない       |
| 98  | 職員は、生き生きと働いている  | ○                     | ①ほぼ全ての職員が    |
|     |   |                       | ②職員の2/3くらいが  |
|     |   |                       | ③職員の1/3くらいが  |
|     |   |                       | ④ほとんどいない     |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|     |   |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|     |   |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|     |   |                       | ④ほとんどいない     |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | ○                     | ①ほぼ全ての家族等が   |
|     |   |                       | ②家族等の2/3くらいが |
|     |   |                       | ③家族等の1/3くらいが |
|     |   |                       | ④ほとんどできていない  |

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

元気で生き生き豊かな老後のために、とにかく戸外活動を充実することで利用者の五感を損なわないよう配慮している。また、その人らしさを失わないよう、その方に出来ること、その方がしたいことなどを見極めて生活スケジュールを考えている。さらには、家族との関係を重視することで利用者の心身の安定を図っている。